

家庭学習について

児童が、力をつけたいことややりたいことを自分で計画を立て、実行し、達成の充実感を持つために、新たな家庭学習の考え方で進めています。他学年の内容も含めて改めてお知らせします。

1 内容 次の3つで構成します。

○学校からの課題(10分～30分程度)

定着を確かめるためのプリントや教科書の問題です。

必ずやりきってほしいものです。自分だけの力では、分からない、難しいと思った時に、担任の先生とできるようにしてほしいものです。次の日に「ウミベノマナビ」を使って学校でやってみる。

○マイチャレ

自分でテーマや目標を決めて、計画を立て教科の内容に取り組みます。

教科のノート、マイチャレのノートやこれまでの自学ノートを利用し、やったことは残しておきましょう。

(例)・小テスト、単元末テストに備えた教科書の復習。ドリルの復習。

・今日の○○の勉強がよくわからなかったから、もう一度やってみる。

・次の勉強が気になるから教科書を読んで調べてみる。問題をやってみる。

やり方がわからなかったら先生にも相談。先生と一緒にやってみたいことがあったら「ウミベノマナビ」も利用してください。先生から声をかけて目標を決めることもあります。

○トイチャレ

教科の枠を超えて、学年の学びの枠を超えて、自分がやりたいことにチャレンジしましょう。

(例) 生き物観察、図鑑等を使った○○調べ、裁縫や調理、図画工作、図鑑づくり、

おすすめの本紹介カードづくり等。

形に残るものも残らないものもあります。形に残らないものは、マイチャレノートに、やった

ことや振り返りを書く頑張っていることが残ります。

2 方法 小学校のゴールを6年生と考え、1年生より段階的に取り組みます。

○低学年 家庭学習の習慣をつける時期であり、「学校からの課題」が中心となります。

少しずつ目標ややり方を先生と考えながらマイチャレ、トイチャレを増やしていきます。

○中学年 自分で、計画を立て、あきらめないで頑張る気持ちを高める時期です。

「学校からの課題」に加え、目標を立てながら取り組む「マイチャレ」が中心です。

自分でトイチャレにも取り組んでいけるよう週末はトイチャレが中心です。

○高学年 自分の力を判断し、学びを広げる時期です。必要に応じて学校からの課題を出

しますが、マイチャレ、トイチャレに取り組めます。

自分で決めるのは難しいこともあると思います。学ぶ方法や内容は、個別の支援をします。

放課後の「ウミベノマナビ」も積極的に利用してください。遠慮なく学校へ相談ください。